

ひめじ *Himeji*



令和7年度全会計予算を可決

(好古園のシダレウメ)

令和7年第1回姫路市議会定例会の概要

- ・ 2月17日から3月26日まで38日間開催
- ・ 本会議では18人が質問
(代表質疑8人、個人質疑10人)
- ・ 令和7年度一般会計予算などの議案64件を
原案通り議決、請願1件審議未了
- ・ 議員提出議案2件を可決

第1回定例会

代表質疑



録画中継を視聴できます。

2月28日、3月3日、4日の3日間にわたり8会派の代表質疑を行い、7年度予算や上下水道の整備、姫路城縦覧料などについて活発な議論を展開しました。その一部を紹介します。

予算

一般会計予算が過去最大に

問 予算編成に込めた市長の思いは。

答 7年度予算では市民の「命」「くらし」「一生」を守り、活力ある姫路を創造するため、「ひと」を育むこと、国内外から選ばれる「まち」を築くこと、時代の変化に対応し「しくみ」を変えることを念頭に置きながら必要な事業に予算を重点的に配分した。子どもから大人までずっと住み続けたいと思える姫路を実現するため、企業立地の促進による雇用機会の確保や子育て支援の充実、教育環境の整備など若者が住んでみたい、住み戻りたいと思える環境づくりに取り組み、市政を推進

していく。

問 今後の財政展望と運営は。

答 人件費や物価の上昇による公共施設の管理運営費や社会保障関係経費の増、老朽化する公共建築物やインフラ施設の長寿命化対策費の増などにより、財政調整基金の取り崩し額が過去最大の45億円となるなど、今後も引き続き厳しい財政状況が続くと認識している。

このため、市民サービスや公共施設の在り方を見直すなど、人口減少に対応した行財政改革を行いつつ、社会情勢の変化や市民ニーズを的確に捉え、まちを変革し新たな活力をもたらし「ひと」の育成の取り組みや、ひめじスーパードリーナ等の新たな「交流」を生む拠点整備など未来への投資も進めていく。

市政

人口減少社会への対応は

問 所信表明における痛みを伴う決断とは。

答 本市の人口は2024年6月に52万人を割り込んだ。50年には23年より約9万人減少すると予測されており、人口増加は困難な状況にある。

人口減少の緩和に向けた積極的な施策展開と持続可能な財政運営の両立には、社会構造の変化に対応したソフト事業の見直しや公共施設の廃止・集約化など大胆な行財政改革が不可欠であるため、デジタル技術を活用した施策への投資を先行して実施してきた。市民の声に耳を傾けながら、デジタル技術等を最大限活用し時代に適応したまちづくりを進めていく。

問 デジタル技術を活用したサービスと周知の状況は。

答 5年10月にサービスを開始した公式LINEは、メッセージ配信機能だけでなく、道路や公園等の不具合の通報や災害時に備えた「命のパスポート」機能など順次サービスを拡充してきたが、市民へ

議員名（会派）	主な質疑・質問内容
井川 一善（自由民主党）	所信表明から伺う人口減少社会であっても姫路の魅力を見出すために我々が取り組むべきこととは？／社会基盤の老朽化対策と遅延なき事業推進のために必要な財源と人手不足にどう対応するのか？
駒田 かすみ（市民クラブ）	市長の所信表明／R7年度予算／教育改革とPDCA／各種計画見直し／デジタル・ディバイド対策／ライトアップ／救急車適正利用と事故防止／動物保健センター／鳥獣害対策／公益通報と組織体制
西本 眞造（公明党）	予算編成に込めた市長の思い／戦後80年、平和教育／観光施策／若者支援／第一次産業の振興／マンション管理促進事業／市民を守る救急業務／保育支援／看護師の2025年問題／姫路市の教育
三和 衛（新生ひめじ）	令和7年度予算編成／シティプロモーションの方針／防災・減災対策／久保田教育長の目指す教育／働き方改革と市民サービスのバランス／姫路城縦覧料算定の根拠／加速するインフラの老朽化対策
大西 陽介（日本維新の会）	手柄山平和公園への名称変更について／空き家対策について／副市長3人体制のメリット、デメリット／大阪・関西万博への子どもの招待について／不登校児童生徒への支援策について
金内 義和（志政会）	令和7年度予算案について／「活力」ある姫路を創造する市政について／「命」をたいせつにする市政について／「くらし」を豊かにする市政について／「一生」に寄り添う市政について
牧野 圭輔（改革無所属の会）	姫路市長等政治倫理条例／副市長3人体制／姫路市の国際交流戦略／国有林（四郷町見野）の借地／辻井・田寺地内の浸水対策／騒音及び悪臭規制／獨協学園姫路医療系高等教育・研究機構の閉鎖
妻鹿 幸二（姫路無所属の会）	健全な財政運営の維持／公共施設の必要性の是非／市民を災害から守る事前防災の強化／未来につながるふるさと姫路の教育／安心して子育てができる姫路の街づくり／都市基盤の更なる改革と強化

の周知が十分でないことは認識している。

AIチャットボットの活用については、市民からの質問に対し公式LINE機能を使った解決方法を案内できるよう、AIに学習させるFAQの充実を図っていく。また、広報ひめじで高齢者や子育て世帯などさまざまな分野のDX施策の特集を掲載し、効果的な広報・周知を図っていく。



副市長

3人体制の必要性は

問 副市長を3人体制としている中核市は。

答 全62市のうち本市と旭川市の2市である。

問 多額の人件費がかかる中、3人体制とするメリットは。

答 3人体制とする理由は、行政需要が複雑・多様化し迅速かつ高度な判断や調整が求められる行政課題が増加していることから、課題に即応性を確保しつつ、きめ細やかに対応するためである。

成果は、新美化センターや仮称「道の駅ひめじ」の整備、姫路城縦覧料改定に係る調整

移住定住支援の実施、ICTを活用した高齢者福祉の充実、大阪・関西万博開催に伴う観光プロモーションなどである。

問 山田基靖副市長の実績と7年度の役割は。

答 観光経済や高等教育、危機管理、消防、デジタル行政に加え、子ども支援などの幅広い分野を所掌し、総合的に政策形成・推進を行っている。実績は、姫路城縦覧料改定に係る調整の他、未来をひらく「人づくり改革」の取りまとめ、新たな子育て支援政策や女性消防吏員の活躍推進の企画・立案等である。

7年度以降も相乗効果を生み出す事業展開を予定しており、元外交官としての知見を生かした人口減少社会で必要となる国際戦略の取りまとめなど、所掌事項の政策についてスピード感を持って推進していく。



国際交流

なぜ海外姉妹城が増えるのか

問 国際交流戦略はあるのか。

答 4年3月策定の国際化推進プランで「海外姉妹都市等

との交流の推進」を掲げ、幅広い分野で国際交流の推進を図ることとしている。

本市が持続可能な発展を遂げるには、本市の認知度や価値を向上させ地域活力の維持拡大が求められるため、「世界から選ばれるまち」となることを目指した国際戦略の策定を検討していく。

問 清元市政で締結した姉妹城提携による効果は。

答 コンウイ城については、文化、スポーツ、観光分野などで交流があるので、姫路城と本市の知名度アップ、海外からの訪問者の増加につながると考えている。

ヴァヴェル城については、同城があるクラクフ市に在住のウクライナ避難民の子どもを本市に招き、市民交流の機会の提供や、次世代につながる新しい関係を生じさせるものになったと考えている。

現時点で経済波及効果は分からないが、企業間連携の問い合わせもあるので、今後、民間企業同士の交流が深まると期待している。

問 新たな海外姉妹城提携に係る経費は。

答 シェーンブルン宮殿との新たな姉妹城提携について、

7年度に訪問団を受け入れる予定で、締結式に関する経費135万円、レセプションおよび運営に関する経費297万8千円で計432万8千円である。



ヴァヴェル城



姫路城

観光資源の活用と保存継承を

問 縦覧料算定の根拠は。

答 今後10年間に必要な事業費は約280億円を見込んでおり、内訳は内曲輪内の建造物保存修理などに約160億円、大手前公園地下駐車場の改修などに約60億円、好古園の改修に約35億円、おもてなしや観光施策経費に約25億円と試算している。

縦覧料の改定で年間来場者数は5年度の148万人から120万人程度に減少すると想定し、10年間の縦覧料は約210億円、国庫補助金や好古園入園料等を合わせて計約260億円の収入を見込み、一般財源から約20億円充当する。

問 三の丸広場の夜間閉鎖の目的と警備体制は。

答 2年に姫路城有料区域内で夜間侵入事故が発生した。また、これまで三の丸広場での長期開催イベント等の期間中に、防火や防犯、通行人の安全対策のため試験的に夜間閉鎖してきた。来城者が増加し、さらなる防犯体制と安全対策の強化のため通年で実施することとした。

警備体制は、大手門は木製の門扉で閉鎖し、搦手口付近は鉄製のキャスターゲートを設置して機械警備を導入する。監視カメラ72台による常時監視を行い、体制強化を図る。

問 三の丸広場の有料化は。

答 動物園の状況や御作事場の復元整備などを踏まえ、内曲輪内の安全かつ快適な見学環境の整備と併せて検討していく。



上下水道

老朽化する施設の整備を

問 本市でも下水道管の破損による道路陥没は発生しているのか。

答 5年度にカメラを使用した管内の調査を約2キロメートル実施した結果、破損箇所が9カ所あり、下水道管路施設に起因する道路陥没は18件発生している。

下水道管の老朽化対策は。

答 コンクリート製の下水道管は約660キロメートルある。7年度から詳細調査を20キロメートル、設置後50年以上のコンクリート管を中心に管路点検を80キロメートルする予定で、腐食等が確認された場合には、詳細カメラ調査や道路空洞調査を行い、年間10キロメートルを目標に改築工事を実施する。

皮革排水管は約23キロメートルですべて調査が終了し、約8キロメートルの管更生等が完了しているが、腐食の進行が早いいため順次工事していく。

水道管の漏水発生件数と老朽化対策は。

答 水道管の漏水発生件数は5年度に343件発生している。

るが、9割以上が個人設置の給水管であり、水道本管の漏水は19件であった。

6年度に県下一斉の人工衛星を利用した漏水調査に本市も参画し、漏水箇所の早期発見や作業効率の向上に努めている。

老朽管路の更新は、災害時の避難所や病院など重要給水施設につながる管路を優先し、管種や経過年数による更新順位に加え、AIによる劣化診断も活用することで効率的に取り組んでいく。



下水道管のカメラ調査の様子



公共施設

市民ニーズを見極めた整理を

問 近年の予算から見た公共施設の財政状況は。

答 6年度中に姫路市勤労市民会館とアイランドハウスいえしま荘を廃止することで約5800万円の運営経費が削減となるが、新たな大型公共施設の整備を予定しており、削減額以上の運営経費が必要になると見込んでいる。

公共施設の統廃合は。

答 整備後30年経過した公共施設の床面積は、全体の約8割を占めている。姫路市公共施設等総合管理計画では、37年度までの40年間で床面積総量を20%削減する目標を掲げ、公共施設の適正配置に取り組んでいる。

学校については、従来の老朽化対策に加え、包括管理業務委託を導入することで、施設の安全・安心を確保しつつ、小中学校の子どもたちにとってよりよい教育環境となるよう適正規模・適正配置となるよう進めていく。

今後の計画は。

答 7年度に策定する新たな総合管理計画では、床面積総量の目標を見直し、施設分類別に取り組み方針を定め、長期的な目標だけでなく短期的な目標も検討していく。

また、公共施設等適正管理推進事業債の活用計画について

ては、公共施設の集約化・複合化に伴う施設の除却事業が新たに起債対象に追加されたため、施設の集約化・複合化の際に事業債を活用し、施設のストック量の最適化に取り組んでいく。



市役所

信頼ある行政運営の推進を

問 7年7月1日から窓口業務の受付時間を現行の午前8時35分～午後5時20分から午前9時～午後5時に変更するが、その効果は。

答 5年度に職員が受付時間の前後で窓口対応した時間外勤務時間数は、約3万6000時間であった。

受付時間の変更により事前準備や事後処理の時間が確保でき、時間外勤務の削減が期待できるため、職員の働き方改革の推進につながると考えている。

市民への影響は。

答 午前8時35分～9時および午後5時～5時20分の時間帯の来庁者数は、それぞれ全体の2・8%、1・7%で計4・5%であり、利用者に影

響があると考えている。一方、省人化を図りつつも、質の高いサービスを生み出すことができるよう、オンライン手続きや各種証明書類のコンビニ交付サービスを拡大する。また、郵便局との連携によるマイナンバー関連窓口の拡充にも取り組んでいる。受付時間の変更の周知期間を半年程度設けるとともに、デジタルに不慣れた市民への対応に取り組むことで、市民サービスの影響は抑えられるものと考えている。

令和7年7月1日(火)から 姫路市役所と出先機関の 窓口受付時間を変更します。	
変更前	変更後
8:35～17:20	9:00～17:00
対象施設 ・市役所本庁舎、支所、地域事務所、出張所、保健所、保健福祉サービスセンター等	電話受付も同様です。

窓口受付時間の変更

次の定例会は
6月上旬
開会予定です。

詳しいことは議事課まで
お問い合わせください
(221-2033)

第1回定例会

個人質疑



録画中継を視聴できます。

3月5日、6日の2日間にわたり個人質疑を行い、10人の議員が森林整備やひとり親家庭、公園の活用などについて活発な議論を展開しました。その一部を紹介します。



路上喫煙防止

姫路駅周辺に喫煙所の設置を

問 姫路駅周辺のたばこのポイ捨て状況は。

答 2年3月に姫路駅周辺の喫煙所を撤去して以降、路上喫煙禁止区域内のたばこの吸い殻の本数を調査しているが、姫路駅北駅前広場のみゆき通り入り口付近でポイ捨てが多い。また、禁止区域外では路地裏などでの喫煙に関する苦情が寄せられており、禁止区域と隣接した場所の喫煙が増加傾向にある。

問 今後の取り組みは。

答 禁止区域における路上喫煙の抑止や再発防止の徹底を図るため、罰則強化に向けて過料の額や徴収方法の見直しを検討する。

また、外部に煙が漏れない完全密閉型の公衆喫煙所を、吸い殻ごみが多い場所の近くに設置する。7年度に施設の設計をして8年度の供用開始を予定している。



買い物難民対策

市民生活を支えるために

問 移動販売事業者に対する市の関わりと支援策は。

答 相談や問い合わせに個別に対応しているが、支援策は、設けていない。

問 移動販売事業者に対する支援策実施の考えは。

答 現在、県が商店街買い物アシスト事業を実施し、商店街等が行う移動販売や送迎車運行に対し補助金を交付して

いる。7年度から条件付きで移動販売事業も補助対象になる予定で、制度の周知を進めていく。

今後、本市も支援策の有効性や必要性を研究していく。

問 市と移動販売事業者の連携による持続可能な仕組み構築の検討は。

答 買い物難民問題は地域の商業、交通体系や福祉などさまざまな要素が関係しているため、関係部局で課題を共有し、連携して取り組んでいく。



医療電話相談の効果検証を

問 救急医療電話相談（#7119）の利用者や相談内容の実績は。

答 大まかな区分となるが16、64歳の年代の相談者が一番多く、相談内容の上位は「成人の発熱」「成人の腹痛」「小児の発熱」の順である。

問 導入による効果は。

答 119番通報による医療機関等への問い合わせ件数や救急搬送者に占める軽症者割合が減少しており、消防局の負担軽減につながったと考え

ている。

特に軽症外傷に対応している医療機関について、#7119の導入前は市民からの問い合わせに答えることができなかったが、導入後は案内が可能となったため、迅速な受診につながり、医療機関の負担軽減にも寄与できたと考えている。



林業

姫路市の林業の活性化を

問 森林整備とその促進に関する費用に充てる森林環境譲与税の使い道は。

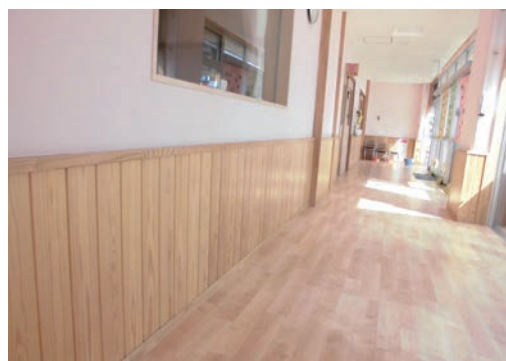
答 元々5年度の総額は約3億7千万円で、うち約92%を執行している。6年度の交付予定額は約1億1千万円を見込んでいる。

主な使い道は、森林資源の循環サイクルの構築を図る再造林推進事業、奥地の森林整備を促進する条件不利地間伐等推進事業、製材や木質バイオマス発電燃料など木材利用促進を図る木材活用推進事業の実施である。

問 地元産木材の公共施設への活用実績は。

答 農業振興センター研修棟および大塩こども園の内装に市産材を、アクリエひめじのキッズルームおよび書写山観光施設の内装に県産材を活用している。

木材価格、調達量、耐候性、耐朽性などの課題があるが、関係部局と連携し、公共施設への木材利用の促進に努めていく。



姫路市産の木材を利用した大塩こども園



ケアマネジャー

高齢者支援の要を守るため

問 介護支援専門員（ケアマネジャー）のシャドーワーク問題の認識は。

答 ケアマネジャーの業務内

容は、要介護者や要支援者のケアプランの作成、介護サービス事業所との連絡調整であるが、利用者等の要請で公共サービスの手続きや救急搬送時の同乗など法定業務以外の用務を担っていることは認識している。介護人材を確保して介護保険制度を安定的に運営する上で重要な課題であると認識している。

問題解決のための対応は。

答 ケアマネジャーの業務範囲の周知については、他都市で作成されているリーフレットなども参考にしながら、早急に対応したい。また、利用者家族に必要なサービスを提供できる体制づくりの協議については、国の動向も留意し、本市の地域ケア推進協議会や医療介護連携会議で議論していく。

学校

通いたくなる学校に

問 子育て環境の充実と中小学校の統廃合は両立するのか。

答 学校では教科等の知識や技能習得だけでなく、集団の中で多様な考えに触れ、思考

力等を育み規範意識等を身に付けさせることが重要であり、一定規模の児童生徒集団が確保されていることが望ましい。適正規模・適正配置を進めることが必要不可欠であると考えている。

市長部局が取り組む地域コミュニティの活性化や子育て環境の充実に、教育委員会も連携・協力していく。

問 学校協議会や説明会に教育委員会だけでなく、市長部局の担当や市長も出向くべきでは。

答 持続可能な地域社会づくりと教育環境の整備について教育長と意見交換しており、非常に切実な問題である。常に現場主義を通してきたので、どのような状況にあっても説明会や意見交換の場に出向きたいと思っている。

問 6年度の「子どもの学校改革応援プロジェクト」で城北小学校と飾磨中部中学校の2校を選定した経緯は。

答 教育長の学校訪問の際に、校長等から「こんな空間が欲しい」とのアイデア提案があり、初の取り組みのため、モデル事業として小中学校各1校を選定した。

問 募集期間と金額設定は。

答 同プロジェクトはふるさと納税のポータルサイト「ふるさとチョイス」のガバメントクラウドファンディングを利用しており、募集期間は同ファンディングの仕様の最大募集期間90日に設定した。募集金額は速やかに着手、実行可能な金額として1校当たり150万円に設定した。

問 7年度以降の選定方法や審査基準は。

答 市立学校から広く募集する予定である。具体的な審査基準は定めていないが、空き教室のリノベーションに限らず、子どもたちの思いを大切に、応援したいと思ってもらえるアイデアを選定したい。

公園

公園の整理活用を

問 飾磨中央公園に導入する公募設置管理制度を他の公園にも活用しては。

答 同中央公園での成果や効果を検証した上で活用を検討したい。

問 街区公園の整理統合は。

答 地区公園や近隣公園など大規模な公園の新設時に、周

議員名（会派）	主な質疑・質問内容
西村しのぶ（志政会）	死亡者数の激増について／訪問診療全般について／ケアマネジャーの在り方について／要介護度改善・維持評価事業の導入について／施設入所者の資格確認書について
竹尾浩司（市民クラブ）	価格交渉促進の取組／公共施設等の老朽化対策／防災の取組／人口減少時代における人材の確保／買物難民対策／教育環境の整備／未利用市有地の利活用／JR栗の森踏切周辺交差点の安全対策
石堂大輔（自由民主党）	病院跡地の避難所活用／エディブルガーデン／建物断熱性向上／高齢者シェアハウス／商店街点字ブロック／ユニバーサルツーリズム／事業承継・産業支援／ジュニアオーケストラ／駅周辺の喫煙所
有馬剛朗（公明党）	第3期播磨圏域連携中枢都市圏ビジョン（案）について／防災減災と災害対応の福祉的支援について／高まる日本人気で地域経済活性化／合葬式墓地の整備／教職員の負担軽減と教育環境の整備について
萩原唯典（新生ひめじ）	清元市政2期目の折り返しを迎えて／人口減少社会における都市計画（線引きの在り方）／社会情勢に対応する農業施策／こども誰でも通園制度等の子ども施策／外郭団体の改革

墓地

合葬式墓地の整備を

問 市民ニーズを捉えた合葬式墓地の整備が必要では。

答 合葬式墓地の種類は、樹木葬、納骨堂、モニュメントタイプなどがあり、公営の墓地においてもさまざまなタイプが整備されている。収納可能数は多いところで1万1千体、使用料は5万～10万円で、別料金で一定期間、個別管理を

辺に所在の街区公園の機能が再編されるので、その状況を踏まえ公園の集約化に向けた検討をしている。

問 姫路市公共施設等総合管理計画で37年までに施設床面積総量20%削減とあるが、公園敷地の売却検討は。

答 公園の削減は、人口減少の進行状況、地域ごとのニーズを把握した上で機能再編・集約化の可能性を探る。他都市の事例や国の動向を注視し、引き続き都市公園の廃止を研究する。

売却は、まずどの公園を機能再編・集約化するかを考えてから検討したい。



名古屋霊苑の納骨堂

選択できる施設もある。

現在、名古屋霊苑納骨堂で永代供養の納骨を受けているが、多様な形態の墓地供給が求められているため、合葬式墓地の必要性は認識している。

問 今後の方針は。

答 整備に当たっては、既存の納骨堂と合葬式墓地との運営面での整合性確保等の課題がある。市民や有識者の意見、他都市の状況を参考に、姫路西霊苑の有効活用を含め、設置場所および運営方法を検討の上、最適な施設整備を図り、霊苑の安定的かつ継続的な経営の確保に努めていく。

ひとり親家庭

子どもの健全な成長のために

養育費の確保策は。

問 養育費支援事業として、平成29年度から弁護士の特任相談を月1回実施している。

答 養育費確保事業として、令和2年度から養育費の支払いを定めた公正証書等の作成費用および民間の養育費保証契約を締結した際の初年度の保証料に対する費用の助成をしている。

問 市による養育費の立て替えは。

答 立て替えた養育費を回収できなかった場合、滞納債権になる。また、立て替えがその後の養育費の支払い履行に与える効果など整理すべき事項があるため、実施中の他都市の動向を注視し検討したい。

問 ひとり親家庭が面会交流支援団体に支払う利用料への助成支援は。

答 事業実施には利用者のニーズやその効果の検討が必要である。ひとり親家庭が抱える問題は多岐にわたっており、ニーズを見極めた上で必要な事業の実施を検討したい。

議員名（会派）	主な質疑・質問内容
下 林 崇 史（日本維新の会）	#7119導入1年経過後の検証について／市立小中学校等への不審者対策用防犯カメラ設置の進捗状況について／万博開催期間中の来姫者へのおもてなし施策について／出会い・結婚支援について
神 頭 敬 介（姫路無所属の会）	教育環境の整備について／子どもたちを守る補導活動の今後について／都市公園の今後の方針について／観光客のおもてなしについて／網干地区の公共交通空白・不便地域の解消について
塚 本 進 介（改革無所属の会）	10億円の使い道・市民との姫路城再構築／観光先進都市ひめじ／市民文化祭・中学校の部活動・公民館利用／寄附金の使い方／公園の整理活用・バス等の高齢者向け補助・上下水道料金と老朽化対策
谷 川 真由美（日本共産党議員団）	手柄山平和公園に改称する経緯と目的／子育て環境の充実と学校の統廃合は両立するのか－給食費保護者負担増は中止を／放課後児童クラブの待機児童解消と公共の責任－こどもの意見表明権の保障を
三 浦 充 博（日本維新の会）	ひとり親家庭の子どもへの支援について（養育費確保と面会交流）／いじめや不登校など子どもたちの声を聞く相談窓口について

令和7年度予算審査

3月7日、10日に予算決算委員会（全体会）を開催し、各会計の予算について理事者から説明を受けました。11日から14日までおよび17日に各分科会を開催し質疑応答を行い、議案を慎重に審査しました。21日の全体会で各分科会長から分科会での議論について報告され、26日の本会議で7年度の全会計予算を可決しました。

各分科会での議論から、その一部を紹介します。

総務分科会

問 地域の防犯カメラ設置・更新の補助事業に引き続き力を入れるべきではないのか。

答 県の補助金の縮小などの影響で予算が減額となったが、限られた財源の中で、通学路など安全確保の必要性が高い場所に設置が進むよう補助制度を運用していきたい。

意見 厳しい財政状況は理解するが、更新需要の増加等も見据え、設置・更新経費だけでなく、リース費用への補助も研究するなど、持続可能な補助制度を検討されたい。

問 郵送搬送経費の経費節減に向けた取り組みは。

答 郵便料金の改定に併せて、

発出の必要性が低い通知文書等の廃止やデジタル化の検討に取り組んでいる。6年度から市税の口座振替済み通知書を廃止するなど、郵便数の削減に努めている。

意見 引き続き経費節減に向け郵送事務の見直しを進められたい。

問 公金取扱手数料の有料化に伴う振込手数料削減の取り組みは。

答 書面よりも手数料が安いデータ伝送の利用や、振込先が複数ある場合は市指定金融機関を優先して選択している。

意見 振込手数料の重みを職員に伝え、全庁的に振込手数料の削減に努められたい。

文教・子育て分科会

問 マッチングアプリや結婚相談所の料金助成による利用実績は。

答 7年2月25日時点で、マッチングシステムのゼクシィ縁結びおよび結婚相談所のゼクシィ縁結びエージェンツ37件、他のマッチングシステムは、はばタン会員17件、タッブル3件、ペアーズ15件で計72件の利用があった。

7年度は30代の助成額を20代と同額に引き上げ、30代の利用を促進したい。

問 保育人材確保のため私立園が保育士等の保育料を負担する事業経費の一部を助成する保育士等保育料支援事業の予算480万円の算出根拠は。

答 対象となる保育士等を25人程度と見込み算出した。

意見 当該事業は、保育士等を経済的に支援し再就職等を促して保育人材を確保するもので、人材確保に苦慮する私立園にもメリットがある。今後ともさまざまな手段を用いて周知し、人材確保に向けて着実に取り組まれたい。

問 図書館の空白地域における新たなサービスとは。

答 現在、当該地域では自動

車文庫が月に1〜2度巡回しているが、新たに公共施設で図書の出し出し・返却サービスを実施する。7年度はモデル事業として、4カ所程度の公民館で実施する。

問 部活動の地域展開に係る予算の増額理由は。

答 新たな地域クラブ活動（姫カッ）の全市展開に当たり、部活動の受け皿となる関係団体と学校間の連絡調整等を担う人材を雇用する必要がある、その人件費である。

厚生分科会

問 国際女性デーイベントと、開催場所が同じで時期も近い国際交流スプリングフェスティバルとの連携は。

答 両イベントの連携は集客を図る上で有効であるため、関係部局と協議し可能な範囲で連携して開催したい。

意見 両イベントの連携により集客増が見込めるだけでなく、男女共同参画に興味がない市民が国際女性デーイベントに参加するきっかけにもなるため、効果的な啓発となるよう関係部局としっかり協力されたい。

問 タクシー等の交通優待助成のデジタルチケット導入について、スマートフォン（スマホ）を所持していない人への対応は。

答 対象者全員に二次元コードが印刷されたプラスチック製カードの配布を検討している。スマホを所持していない人には当該カードを使用してもらいたいと考えている。

問 乳幼児発達支援におけるはぐくみ相談室の体制は。

答 心理士、社会福祉士、保健師に加え、保育士や教員の資格を持つ職員の協力を得られる体制としたい。

意見 発達に不安がある子どもを持ち、悩んでいる保護者は多数いると思われる。関係機関と連携し、充実した体制となるよう取り組まれたい。

経済観光分科会

問 世界遺産姫路城マラソンの開催経費が6年度より5千万円減少した理由は。

答 5年度からの全庁的な事業見直しを受け、持続可能な大会となるようレセプションパーティーの見直しや参加記念品等の有償化などにより運

営経費を削減する。

また、協賛企業の拡充による協賛金収入の拡大や参加料の引き上げなどの収支改善策を検討している。

意見 人件費等が高騰している中、サービスの縮小や参加料の引き上げはやむを得ないが、大会運営の見直しの検討に当たっては、ランナーのニーズをしっかりと把握し、同マラソンの魅力が損なわれないよう十分に注意されたい。

問 デジタル商品券に対する高齢者の利用状況と新たな申込枠の意図は。

答 デジタル商品券の発行が3年目であり、高齢者向けデジタル・デイバイド対策と連携し対面による個別サポート窓口の開設により、高齢者の利用率は大きく上昇している。デジタルの普及啓発のため、プレミアム率が高いシルバーデジタル応援枠を新設し、高齢者のデジタル機器の利用促進を図りたい。

また、子育て応援枠は、スマホを持たない子どもたちの申し込み機会喪失の課題に対応するため、世帯代表者が子どもの方もまとめて申し込みができるよう仕組みを変更する。

建設分科会

問 通学路等に面した危険ブロック塀等の倒壊事故防止のための除却工事費用の一部補助について、その対象区域の拡大は。

答 学校指定通学路に加え、5年度から小学校等から半径500m以内の道路も対象にした。対象区域拡大は、申請状況を踏まえて検討したい。

意見 安全・安心な通学路を確保するため、児童が登下校時に利用する道路に面した危険ブロック塀等は、速やかに改善する必要がある。対象区域の要件緩和を検討されたい。

問 播磨臨海地域道路等の整備推進のため、地域住民の理解と協力を得るための対応は。

答 播磨臨海地域道路を整備することで、交通渋滞の解消や交通事故の削減が図られ、本市の発展につながるという具体的なイメージを持ってもらえるよう、きめ細やかな説明を行っていききたい。

意見 地域住民への説明時は、現実的な効果や整備イメージが実感できるような分かりやすい資料の作成に努められたい。

問 下水汚泥の利用拡大は。

答 下水汚泥の大部分は県管理の兵庫西スラッジセンターで焼却処分され、砂粒状の融解スラグが建築資材として販売されているが、下水汚泥を肥料化するための設備は設置されておらず、肥料化していない。今後、県が老朽化した同センターを改築する際には、当該設備の設置が検討されるのではないかと考えている。

意見 下水道事業は、7年4月から使用料を値上げするなど厳しい経営環境に置かれているので、未利用資源の有効活用等を通じて自主財源の確保に努められたい。

新市立高等学校設置分科会

問 新校の用地取得の評価額算定に当たり、不動産鑑定はどのように行ったのか。

答 土地ごとに不動産鑑定を行うのではなく、標準的な土地の鑑定価格に基づき評価している。

問 用地取得の総額と見通しは。

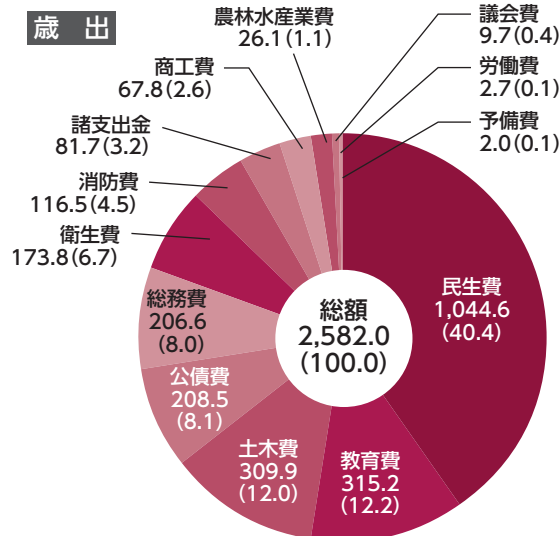
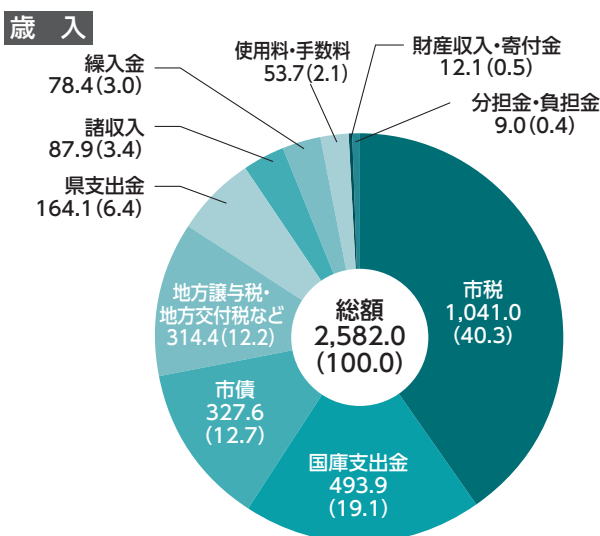
答 用地取得の総額は、計画当初の見込み通りであり、すべての用地の取得を目指し取り組んでいく。

令和7年度予算

全会計の予算総額:4,297億円(前年度比5.2%増)

一般会計:2,582億円(前年度比9.4%増)

※単位:億円、()は構成比(%)



特別会計(7会計):1,128億円(前年度比0.6%減)

企業会計(2会計):587億円(前年度比0.5%減)

委員会等の活動(1月～3月)

委員会報告

各常任委員会を定例会中に開催し、それぞれ付託された議案や請願等について活発な議論を展開しました。

議案が付託された六つの委員会のうち、予算決算委員会以外の委員会の委員長口頭報告から、主要望事項を紹介します。

※予算決算委員会に付託された予算議案に関する議論はP8～9の通りです。

総務委員会

本市の発注工事の週休2日制の試行について、不測の事態等、受注者の責めに帰さない理由で工期遅れが生じた場合に配慮できるように関係要領等を見直しているところで、原則予定価格1千万円以上のすべての工事で「発注者指定型」による週休2日制の工事を目指すとのことであるが、建設業の人材不足が深刻化しており、将来の担い手を確保・育成するためにも週休2日制の工事を早期に本格実施

できるよう取り組まれない。

文教・子育て委員会

小中学校の適正規模・適正配置について、協議が長期化し結論がまとまらない状況が生じていた学校地域協議会の運営方法を見直し、今後は教育委員会が望ましいと考える取り組み方策、統合案を提示していく方針となったが、これまで地域の主体性に委ねられていた同協議会の在り方を大きく変えるものであるため、地域と学校と行政が丸となつて子どもたちにとってよりよい教育環境を実現させるため丁寧な協議を重ねられたい。

厚生委員会

中央支所の移転整備について、イーグレひめじ内に移転する新事務所にも自家用車での来庁が多いと思われるため、利用者が同施設の駐車場を利用した場合の駐車料金割引について検討されたい。

将来的に駅前市役所を新事務所に統合させるのであれば、

市民に対し移転ありきの説明ではなく、移転や統合の必要性を十分理解してもらうために丁寧な説明に努められたい。

経済観光委員会

姫路・西はりま地場産業センターの解散に伴い本市が譲り受けるじばさんびるを、地場産品の販売、中小企業支援、中心市街地活性化に資する機能の拡充により、産業振興の拠点施設として活用し、より有効活用するため全庁的に検討することであるが、当該ビルはJR姫路駅南の好立地にあり、民間企業の潜在的なニーズ等もあると思われるため、広い観点から将来展望を検討されたい。

建設委員会

飾磨中央公園の再整備について、民間活力を活用する公募設置管理制度(Park PFI)の導入は、本市初の事例となることから、同公園の魅力向上にしっかりと取り組み、その効果を十分に検証されたい。

また、他の都市公園への導入については、地域の特性を

見極めつつ、同公園の検証結果も踏まえて判断されたい。

行政視察報告

■姫路無所属の会

1月14日～16日

▽沖縄県…首里城復興基本計画
▽那覇市…省エネを実践し資源が循環するまちづくり
▽沖縄市…東部海浜開発事業(潮乃森)
▽宇佐市…宇佐神宮を中心とした街並み整備事業の取り組み

■市民クラブ

1月20日～22日

▽糸満市…ブカツ・サポート・コンソーシアム実証事業
▽沖縄県…ブカツ・サポート・コンソーシアムとの連携協定と県内市町村での実証事業の状況

■公明党

1月22日～24日

▽青森市…道の駅なみおかアップルヒル
▽弘前市…移住定住促進の取り組み、弘前圏域定住自立圏構想
▽八戸市…八戸ポータルミュージアムはっち
▽盛岡市…公共施設アセットマネジメント、自治体DX

■自由民主党

1月22日～24日

▽沖縄市…沖縄アリーナ
▽恩納村…万座毛周辺活性化施設

■日本維新の会

1月22日～24日

▽豊島区…としまどりの防災公園(IKE・SUNPARK)
▽八重山ビクターズビュロー…八重山ビクターズビュローにおける観光振興の取り組み
▽石垣市…石垣市デジタル化推進計画、HP Sure Click Enterprise導入に伴うインターネットの活用

■改革無所属の会

1月22日～24日

▽佐賀市…議会改革
▽鹿児島市…議会改革
▽柳川市…「居心地が良くあるきたくなるまちなか」ウォークアブル推進都市の取り組み

■総務委員会

1月27日～28日

▽富士市…移住定住促進事業の取り組み
▽川崎市…シテイプロモーション

■経済観光委員会

1月27日～29日

▽熊本市…熊本城および桜の馬場城彩苑を活用した観光施策
▽佐世保市…クルーズ船誘客に係る取り組み
▽久留米市…公共施設(既存建築)の

ZEB化

■建設委員会

1月27日～29日

▽宮崎市…宮崎処理場におけるFII制度を活用した消化ガス発電事業の取り組み、市営住宅における指定管理者制度の導入
▽延岡市…Park FII制度を活用した公園整備の取り組み

■文教・子育て委員会

1月28日～29日

▽足立区…生成AIパイロット校
▽川口市…放課後児童クラブの公設民営

■厚生委員会

2月11日～13日

▽国立療養所宮古南静園…ハセン病隔離政策と人権
▽宮古島市…健康長寿への取り組み、未来創造センター
▽宜野湾市…国民健康保険税収納対策緊急プラン

請願

本定例会で結果が出た請願は次のとおりです。

審議未了（廃案）

○選択的夫婦別氏制度の導入に対し、より慎重な審議を求める意見書の提出について

人事（敬称略）

〈教育委員会委員〉

三木 一正

会派・会員の異動

会派の結成と会員の異動がありました。関係各派の名簿を掲載します。

会派の結成

（3月3日届け出）

無所属

代表 高見 千咲

会員の異動

自由民主党

会長 竹中 隆一
幹事長 井川 一善
政調会長 石堂 大輔
総務会長 重田 一政
会員 仁野 央子
石見 和之
宮本 吉秀

議会の動き

姫路市議会議員政治倫理審査会

高見千咲議員による「SNSを利用するにあたり不適切な内容の投稿を繰り返し、本市議会の品位と名誉を害したこと並びに議会事務局職員

■情報公開に努めています

7月1日（火曜日）から、ウェブサイトで6年度の政務活動費収支報告書等を公開します。議会事務局でも閲覧できます。

また、ウェブサイトで議会交際費の執行状況を毎月公開しています。6年度の支出明細は次の通りです。



6年度 議会交際費支出明細

種類	件数	金額（円）
慶祝	0	0
弔慰	9	111,435
見舞	0	0
会費	13	142,000
賛助	3	17,117
謝礼	1	33,900
接遇	0	0
雑費	2	30,800
その他	0	0
計	28	335,252

職務執行を妨げたこと」が、姫路市議会議員政治倫理基準に反する疑いがあるか審査の請求があったため、姫路市議会議員政治倫理審査会を設置し、審査しました。

（委員）

西本 眞造 大西 陽介
八木隆次郎 妻鹿 幸二
宮本 吉秀 牧野 圭輔
三和 衛 松岡 廣幸

審査結果報告書の概要

5回の審査を実施。3月7日に審査結果報告書を議長に提出。審査結果は次のとおり。政治倫理基準の違反を確認。

意見書の概要

・高見議員に政治的、道義的に重大な責任があると認め、「議員辞職の勧告」が相当と決定。

高見議員から提出された意見書の概要は次のとおり。
・審査は審査委員たちの個人的な主観で進められ、事実関係は全く審査されていないため、厳重に抗議します。

議会の措置

3月26日の本会議で辞職勧告決議案が提出され、全会一致で可決。



■高校生と座談会で意見交換

6年12月24～26日に高校生と姫路市議会との座談会を開催し、南海トラフ地震などの大規模災害・減災対策、小中学校の在り方、高齢者のデジタル・ディバイド対策、観光戦略の見直し、小規模公園の管理活用について、意見交換しました。



永年勤続
議員表彰

〈30年勤続市議会議員〉

蔭 山 敏 明

〈10年勤続市議会議員〉

常盤 真功 井上 太良 竹尾 浩司 重田 一政 大西 陽二 妻鹿 幸二
（議席番号順）

提出議案とその結果（令和7年第1回定例会）

提出議案66件のうち、53件については全会一致で可決または同意しました。
賛否が分かれた議案とその結果は以下の通りです。

番 号	件 名	結 果	会 派 名									
			公明	市民	自民	新生	維新	姫路	改革	志政	共産	刷新
議案第1号	令和7年度姫路市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	×	○
議案第4号	令和7年度姫路市国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第5号	令和7年度姫路市介護保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第6号	令和7年度姫路市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第9号	令和7年度姫路市水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第10号	令和7年度姫路市下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第12号	令和6年度姫路市一般会計補正予算（第9回）	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	×	○
議案第19号	姫路市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第30号	姫路市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第34号	姫路市附属機関設置条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第42号	姫路城西御屋敷跡庭園好古園条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第43号	姫路城縦覧料等徴収条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	×	○
議案第45号	姫路市工場地促進条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

会派の略称と人数

公明党	公明	8人	改革無所属の会	改革	3人
市民クラブ	市民	8人	志政会	志政	3人
自由民主党	自民	7人	日本共産党議員団	共産	2人
新生ひめじ	新生	5人	刷新の会	刷新	1人
日本維新の会	維新	4人	無所属	無所属	1人
姫路無所属の会	姫路	3人			

※賛否には議長（公明党所属）は含まれません。

賛否状況の表記

賛成は「○」、反対は「×」、
除斥は「除」、退席は「退」、
欠席は「欠」、会派内で賛否
が分かれた場合等は「※」と
表記しています。

すべての議案の結果および
議員ごとの賛否等の状況は
市ウェブサイトでご覧にな
れます。



姫路市議会議員を紹介します vol.7

市民の皆さまの代表である45人の市議会議員を紹介します。
今号は次の4人です。

質問内容 ①自分の性格は？ ②趣味や特技は？
③市民の皆さまへ熱いメッセージを！

山口 悟 議員（市民クラブ）



①何事もコツコツと取り組み、責任感が強いと思います②家庭菜園で育てた野菜を子どもと一緒に収穫し、食べることです③皆さんの大切な声を市政に届け、その声の一つでも多く実現できるよう努力して、誰にとっても住み良い姫路を目指し、全力で頑張ります

牧野 圭輔 議員（改革無所属の会）



①涙もろく素直で生真面目なところがある②ジョギング、ウォーキング、筋トレ、歴史散策、ドライブ、ツーリング③私は「嘘をつかない市政」を実現するため常に市政を厳しくチェックして行きますので、市民の皆さんにはふるさと姫路を良くするため、もっともっと市政に関心を持って頂きたいと思っています

三和 衛 議員（新生ひめじ）



①穏やか②小さい頃から何かを集めるのが好きで、今は各地の特色有るご当地カード、特にマンホールカードやロゴゲットカードの収集に力を入れています③自分の名前が「まもる」なので、名前の通り市民の皆さんの暮らしと姫路の未来をまもる事ができる様に、パイプ役として日々精進していきます

西村 しのぶ 議員（志政会）



①とにかく明るい。悩まない。楽観的過ぎると言われる②神社めぐりや決して上手くないのですが、合唱団で歌うことを楽しんでいます③ケアマネジャーとして学ばせていただいた先人たちからの学びを次の世代へつなぎ、生涯安心して暮らせる街づくりに取りくみます